

厚生町防災マップ

H27.3作成

河川水位危険度レベル一覧表

レベル表示
(1~5)

河川水位

自治体・住民に
求める行動

5

はん濫の発生

はん濫危険水位

家屋浸水や川がはん濫するおそれのある水位です
裏山:3m70cm

4

避難判断水位

避難行動を行う目安となる水位です
裏山:3m00cm

3

はん濫注意水位

避難行動の準備を行う目安となる水位です
裏山:2m70cm

2

水防団待機水位

裏山:1m70cm

1

レベル5

逃げ遅れた住民の救済等新たなはん濫が及ぶ区域の住民の避難誘導

レベル4

避難を完了。

レベル3

自治体は、避難勧告などの発令を検討する段階です。
住民は、避難を判断する段階です。

レベル2

自治体は、避難準備情報の発令を検討する段階です。
住民は、はん濫に関する情報に注意が必要です。
水防団は出動する段階です。

レベル1

水防団は、水防活動を行うために待機を行う段階の水位です。

◎避難情報など防災情報の入手先

- 防災行政無線（屋外スピーカー）
→よく聞き取れないときは **0120-419-009**
- エフエム諫早（周波数 77.1MHz）
- 諫早ケーブルテレビ（3sunテレビ）テロップ
- 防災メール、防災FAX（事前に登録が必要です）
- 緊急速報メール（諫早市内の携帯電話メールに一斉配信）
- 市ホームページ
- その他テレビ・ラジオなどの放送媒体

◎災害時の備え（家族で話し合う）

- 避難場所の確認 避難経路の確認 避難時の危険箇所など
家族で事前に確認しましょう
- 非常時の連絡方法の確認
公衆電話、携帯電話専用災害用伝言サービスの活用方法など
自宅を出るとき、メッセージボードなどに避難先や家族の状況を残しましょう
- 非常時持ち出し品リストの作成
下記イラストを参考に事前に準備しましょう
- 非常時の『IDカード』を携帯しましょう
①氏名 ②性別 ③生年月日 ④自宅住所・電話番号 ⑤勤務先の住所・電話番号
⑥血液型 ⑦避難場所（一時・広域） ⑧家族の集合場所 ⑨保険証や口座の番号
⑩家族や知人の連絡先 ⑪かかりつけの医療機関や常備の薬など

家族

防災用品 チェックリスト

災害時に必要な物を日頃から
準備しておきましょう

- | | | | | | | | |
|--|--|--|--|--|---|--|--|
| ☐ 飲料水
1人1日3ℓが目安。
※赤ちゃんのいる家庭は、粉ミルク・ほ乳瓶なども。 | ☐ 食料品
乾パン・缶詰・ビスケット・チョコレートなど。 | ☐ 缶切り
多機能なものが便利。 | ☐ 医療品
消毒薬・胃腸薬・脱脂綿・バンド・ソコウ・包帯・持病の薬など。 | ☐ 貴重品
現金（小銭も）・預金通帳・印鑑など。 | ☐ マッチ・ライター
湿気やガス切れに注意。 | ☐ ろうそく
ビニール袋に入れて、保管する。 | ☐ 懐中電灯
夜間、すぐに手の届く所に。ラジオと一体型のものも便利。 |
| ☐ ラジオ
情報収集に欠かせない。 | ☐ 乾電池予備
ラジオや懐中電灯に使用するものを少し多めに。 | ☐ ヘルメット・防災ずきん
飛来物や落下物から頭を保護するもの。 | ☐ 手袋（軍手）
ガレキの撤去や救助ができるように、厚手の物を用意。 | ☐ 衣類
雨具・下着・ジャンパー・タオルなど。 | ☐ 毛布
寝袋や体温を逃がさないサバイバルシートなど。 | ☐ 運動靴
避難する時ケガを防止するために。 | |

厚生町は**本明川氾濫時には浸水区域**です

避難所へ避難が出来ないときは、
堅固な建物の高い場所（2階以上）へ避難しましょう

大雨時には本明川の水位を確認し、
明るいうちに早めの避難をしましょう



近くの広域避難所		浸水被害が無い避難所へ	
○ 市民センター	東小路町8-5	23-1160	
○ 諫早市体育館	東小路町2-38	22-0177	
○ 地域福祉センター 上山荘	宇都町29-2	23-2488	
○ 諫早中央保育所	野中町508-7	22-1096	
○ 諫早幼稚園	野中町508-7	22-2248	
○ 上山小学校体育館	西小路町1031-1	22-0211	
		※ 赤字 浸水想定区域外	
近くの地区別避難所		船越町1116	22-4193

ふたが無い危険（水路・側溝）

栓

消火栓

浸水しない場所へ避難